



# 三徳地域だより 三徳通信

(平成22年6月号)



## 田舎体験ツーリズム事業 田植え

5月22日(日)「田舎体験ツーリズム事業」で田植えを行いました。

鳥取市内の2家族のオーナーさんと、学生人材バンクから12名、協議会から6名の約30名が参加し、交流を深めました。

当日の朝は、大雨で決行も心配されましたが、田植えを始める頃には小降りになり、やがて雨も上がり泥だらけになりながら、みなさんで手植えによる田植えを体験しました。

昼食には、竹林再生プロジェクトから提供していただいた、たけのこの奈良漬・たけのこのキムチ、そしてたけのこの炊き込みご飯に豚汁を振る舞い、参加されたみなさんは大変喜んでおられました。今後もこのような交流により、田舎のよさを情報発信していきたいと思ひます。





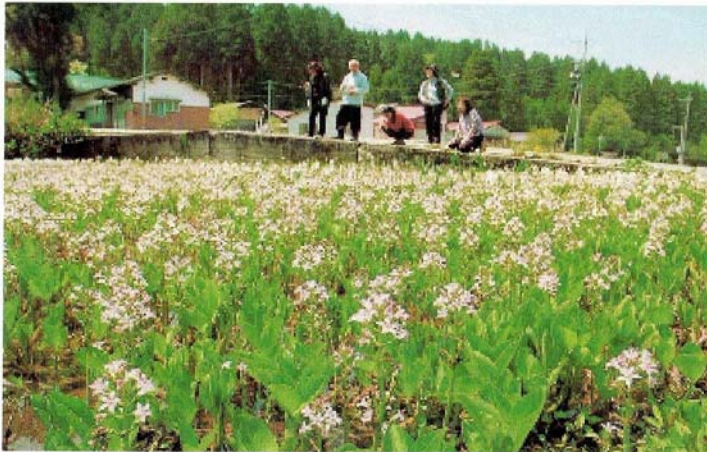
# 「ミツガシワ」の花が咲きました。

5月初旬、以前から俵原住民と三徳地域協議会で守り育てている『ミツガシワ』が俵原の沼池に綺麗に咲いているとの情報を聞き、カメラを持って出掛けました。去年は、霜にあい花を少しだけしか見ることが出来なくて残念な思いをしましたが、今年はたくさんの花を見ることが出来ました。この日は、日本海新聞社からもこの俵原の『ミツガシワ』について取材が来て、翌日の新聞に掲載されていました。また、町外からも情報を聞いて見学に来ておられる方もありました。



## 「氷河期の生き残り」かれん

### 三朝



かれんな花をつけるミツガシワ＝9日、三朝町俵原

三朝町俵原の沼地で、白色や薄いピンク色のかれんな花をつけるミツガシワが見ごろを迎えている。

ミツガシワは、県版レッドデータブックの準絶滅危惧種。氷河期の生き残り植物としても知られ、県内では同町内の3カ所で確認されている。

俵原では道沿いの約100平方メートルの湿地に、薄いピンクや白色の花が咲いており、地元の人たちや三徳地域協議会らが整備を続けている。

町文化財保護調査委員の森本満喜夫さんは「古い時代から生き残った植物。身近に見られるので、町の豊かな自然を感じてもらいたい」と話している。今月中旬まで楽しめる。

地元の人や車で  
通り過ぎるドライバ  
ーらの目を楽しませ  
ているミツガシワ…

### 5月の出来事

- 17日 公民館部会
- 19日 第4回 役員会
- 20日 地域協議会連絡会（みささ村公民館）
- 22日 田舎体験ツーリズム事業 田植え作業
- 29日 ハナモモ手入れ作業 } 雨天中止の
- グランドゴルフ大会 } 為、延期。

### 6月の行事予定

- 12日 現地視察（島根県雲南市木次町）
- 12日 三朝町春季体育大会
- 日 第1回青少年・女性・福祉部会
- 25・26日 竹林再生プロジェクト
- 「食のみやこ」フェスティバル出展

◆5月の出来事と

6月の行事予定◆

### 三徳句会作品

拍手に力を込めて落慶祭	入江則仁	母の日や恋うて手向けし赤い花	正子	人気無き峡を舞台に藤懸る	博	吹けば飛ばやうな花種蒔いてをり	千津子	葉桜の並木これより歩をゆるめ	いさお	新緑のまつただ中に峡の村	和子	雨もまた平に降つてゐる代田	しのぶ
-------------	------	----------------	----	--------------	---	-----------------	-----	----------------	-----	--------------	----	---------------	-----

## 三徳センターのお申し込みについて

- 1 センターご利用の際には、必ず事前に予約をしてください。（電話、FAX、メール可）
- 2 三徳センターはみんなの施設です。施設のきまりを守りましょう。～来たときよりも美しく～

## 【三徳地域協議会】

事務局 深田美鈴【三徳センター】電話 43-1939（FAX兼） Eメール [mitoku@town.misasa.tottori.jp](mailto:mitoku@town.misasa.tottori.jp)  
（月曜～金曜 9:00～17:00 勤務しています。）

地域主事 吉田弘幸・河村明浩【役場総務課：地域づくり支援室】電話 43-3500